

大磯町子ども・子育て会議（書面会議）

意見・質問事項への回答

委員からの意見・質問事項	回答
1. 未就学児用 問 27 問 14 で「1」は、問 17 ではないか。	問 17 で「1」に修正しました。
2. 未就学児 問 22-1 その他の回答欄が必要ではないか。	問 22-1 に「4. その他（ ）」を追加しました。
3. 未就学児 問 36 障がい、発達の状況については、特別な配慮や特性を踏まえた関わりを把握し、どの機関が対応しているかを明らかにする項目と考えます。需要量にも関わってくる内容なので回答しやすいよう「先天性疾患等」の疾患要素を入れるとよいのか判断はつきませんが、この回答から得られる内容をどう活用するか御検討いただければと思います。	問 36 については、目的が、障がいの種類や程度を把握することであり、障がいの原因や背景を把握することではないため、障害者基本法で定義されている障がいの分類を用いることとしています。 ただし、先天性疾患の有無は障がい児の支援策の選択にも影響を与える可能性があり、早期療育の対象となることもあることから、「 <u>先天性疾患の有無の設問</u> 」を追加しました。
4. 未就学児・小学生 問 13 「パートナー・家族に関すること」の項目を入れたらどうか	問 13 に「 <u>家族・パートナーに関すること</u> 」を追加しました。
5. 小学生用 問 17 現在、放課後子ども教室は月に1～2回の開催のため「週□日」と回答することが難しいと思います。どのように記入したらいいのか追記してほしい。	放課後子ども教室の実際の開催方法に合わせ、回答を「 <u>月□日</u> 」と修正しました。また、選択表の下部に※で注意書きを追加しました。
6. 小学生用 ファミリーサポートの援助会員になりたい、なってもよいという方に対する連絡先や連絡方法の記載があるとよいのでは。	現在の仕様では、紙ベースでの調査票において、連絡先や連絡方法の記載への対応は難しいです。ウェブアンケートの場合の対応を検討します。
7. 小学生用 大磯町で実施していない事業が分かるような工夫があると親切だと思います。	大磯町で実施している、していないにかかわらず、回答をしていただくため、事業実施が分かるような表記はしていません。
8. 中学生以上 広く町民の思いを聞こうとする姿勢はよい。	—
9. 中学生以上 問 4-2 なぜ「遅刻」や「早退」の問からなのか。どんなことを聞き取りしたいのか。もう少し前向きに答えられることから聞いた方がよいのでは。	設問順の構成上、この位置にとなっています。問 4-2～問 4-4 は、ヤングケアラーや貧困と関連性のある設問となっているので、 <u>設問は修正しない</u> こととしました。
10. 中学生以上 問 4-4 選択肢がネガティブである文章が多いので、ポジティブな選択肢があるとよい。又は、「当てはまるものがない」など	問 4-4 に「 <u>9. 当てはまるものはない</u> 」を追加しました。
11. 中学生 問 5、7. 無色は無職に修正	問 5 7. 「 <u>無職</u> 」に修正しました。

12. 中学生以上 問 12-3 家にいることがいけないような印象を受ける。インドアな子たちも尊重できるような文言はないでしょうか。	問 12-3 は、問 12 で 5 ～ 8 に回答した方を対象としており、ひきこもりに関する設問となっています。ネガティブ要素だけが理由ではないため、選択肢に、「 <u>1. 家にいるのが好きだから</u> 」。「 <u>2. 趣味や好きなことができるから</u> 」を追加しました。
13. 中学生以上 問 13 「あなたが世話をしている」設問が、世話をしてもらっていると誤解されることがないように、設問の仕方を「あなた自身が家族の世話をしていますか。」等、検討してください。	回答に誤解が生じないように、問 13 「 <u>あなた自身が、家族の世話をしていますか。</u> 」に修正しました。
14. 中学生以上 問 31 選択肢として「ある」「少しある」「意見はあるが伝えようと思ったことがない」などの選択肢はいかがか。	問 31 の <u>選択肢をよりわかりやすい表現「1. 意見や思いがあり、伝えたいと思う」、「2. 意見や思いはあるが、あまり伝えたいと思わない」、「3. 意見や思いはあるが、伝えたいと思わない」に変更しました。</u>
15. 中学生以上、ウェブアンケート 特に引きこもりやヤングケアラーなどに関して該当する人が相談できる窓口の連絡先や連絡方法が記載されている方が良いと感じました。	紙ベースでの調査票の場合、構成上、連絡先や連絡方法の記載への対応は難しいです。 ウェブアンケートの場合の対応を検討します。
16. 中学生以上 若者の意見を聞きたい姿勢は伝わります。何か声があがると嬉しいです。	—
17. 共通 アンケート調査の内容、量にボリュームがあり回答に時間と労力があるものになっている。町長からの挨拶文のところに、「このアンケートの目的、何に活かそうとしているのか」目立つように書かれた方がよいと思います。	あいさつ文の目的などがより目立つよう <u>太字・下線により強調しました。</u>
18. 共通 用語の定義のうち、「子育て」については、「子育て支援」の説明となっていると思われます。	調査票の質問項目等で「子育て」とある場合、子育て支援を示さない場合もあることから、「 <u>子育て支援</u> 」と修正しました。
19. 共通 未就学児、小学生、中学生～大学生相当を対象に郵送とし、回収率 55%を目指していますが、オンライン化は不可能でしょうか。この分量を書面で回答し、返送するのは子育てをする親として時間を確保するのが難しいです。対象となるのが高齢者ではなく、現役世代でオンラインでの回答も慣れている世代なのでオンライン化を推奨します。大この時代において、大量の紙を印刷し送り、45%を無駄にするのはどうお考えでしょうか。	選択項目やご家庭の状況によっては、より絞られた回答数となっています。今回の調査においては紙ベースでの調査としているため、回答する保護者の方には時間的負荷がかかっていることは承知しています。 本計画策定における、今後の調査等においてはウェブでの調査を検討していきます。

20. 共通 町長からのメッセージから始まりますが、目的は書いてあるものの、なじみのない単語、硬い表現があり、回答したいという思いを持ってないです。町長の文章が悪いとのことではなく、構成の問題かと思います。	比較的、公的な文章を逸脱しない範囲でのあいさつ文とさせていただきます。より多くの方に回答いただけるような説明導入文の作成を心がけていきたいと思います。
21. 共通 「大磯町こども計画」がそもそもどういうもので、これが一体どのように生活、子育てに直結するのかイメージがわきにくいです。図や表、イラストなどをもっと用いて、イメージがわくようにしないと、正直、義務感以外では、回答したいという気持ちになれません。過去実際にアンケートがどのように活かされたかなどの実例なども区分けながら、イメージがわかりやすい構成、訴えかける導入文の作成をお願いします。	ご指摘いただきました「こども計画の概要等については、紙面の作成等の都合上、調査票でお示しすることができませんでした。 こども計画については様々な方法で周知を図っていく予定です。 また、本計画策定にあたって実施する、今後の調査については、ウェブアンケートを予定していますので、より多くの方が回答いただけるような説明、導入文の作成を心がけていきたいと思います。
22. 共通 項目を同じとした前回との比較検証ができることは効果的な分析になると考えます。	— (ご意見として伺います。)
23. 共通 ここからの聞き取りを行い掘り下げることでニーズが明確になるため、このように丁寧に子どもの実態・保護者の実態・地域の実情を把握しそれぞれイメージしやすい計画策定が進むことを期待します。	— (ご意見として伺います。)
24. 共通 ここ数年、児童虐待・DV・ひきこもり・貧困・ヤングケアラー・自殺企図・いじめ・不登校・ハラスメント・障害など個別対応の課題も増加の一途です。アウトリーチ（訪問）やプッシュ（SNS）など応援の仕方・情報収集の仕方・参加型会議や相談を工夫し、健やかな成長を支え合う町づくりに尽力されている中で、今回、拾い上げに有効な調査項目が追加されていると感じ取れます。	— (ご意見として伺います。)
25. 共通 データ分析方法について、大磯町こども計画のデータ分析においては、収集した情報をどのように解釈し、活用するかが重要です。得られたデータを具体的にどのような手法で活用するのかが明記されていないと、アンケートの内容にコメントすることが難しいです。分析方法が明記されたうえでの項目になると思います。その点をきちんと説明してください。	— (ご意見として伺います。)

26. 共通 政策決定への直接的な結び付け方について、収集したデータをもとにした政策の策定においては、分析結果を直接的に活用することが求められます。分析結果を具体的な政策やプログラムに直結させることで、データに基づく意思決定を実現し、子どもたちの生活環境の向上に寄与することができます。データをどのように、誰が結び付けていくかなどのプロセスもきちんと明記してください。	— (ご意見として伺います。)
--	----------------------------